

台湾における東北プロモーション事業 (日本東北遊楽日)

業務仕様書【案】

(一社) 東北観光推進機構

仕様書

1. 事業名

台湾における東北プロモーション事業（日本東北遊楽日）

2. 目的

「日本東北遊楽日」については、東日本大震災以降の台湾からの支援に感謝の意を表すとともに、東北の観光プロモーションを東北一丸となって実施することにより、台湾における東北の認知度向上と台湾から東北への旅行者の拡大を図る目的で、2014 年から継続して実施している。

第 12 回目となる今回は、これまでの長年の蓄積を基盤としつつ、東北の食や酒などの名産品を含む東北の物産の魅力の PR、教育旅行やスポーツツーリズムを通じた相互交流などの多角的な視点を取り入れる。これにより東北六県・新潟県の魅力を強力に発信することで、台湾から東北を訪れる旅行者数の増加、東北における観光消費を促すイベントとする。

併せて、セミナー・商談会・相談会・交流会及び航空会社訪問を実施することで、台湾との絆をより強固なものとし、イベントや東北観光推進機構自体の価値を高めるとともに、旅行商品の造成・販売促進及び東北への定期便就航・増便や相互交流の促進を目指す。

3. 委託金額

金 31,400,000 円（消費税及び地方消費税を含む）

4. 契約期間

契約日から 2027 年 1 月 29 日（金）まで

5. 業務内容

（1）東北 PR イベント「日本東北遊楽日」の実施

（ア）実施概要

台湾市場の訪日リピーターや FIT 層、東北に関心のある未訪問層等をターゲットに、東北地域の特色ある魅力を訴求する東北 PR イベントを台北市で開催し、台湾における東北の魅力発信や東北地域への訪日旅行の促進を図る。イベント会場の選定・手配や会場の装飾・施工及び運営管理、イベント内容の企画、日本・台湾双方の出展者募集・調整に加え、イベント実施に係る事前告知やイベント誘客のための広告等を実施し、事業実施効果の最大化を図る。

以下内容にて本業務を実施するにあたり必要となる各種調整及び事業主体の渡航に関する手配を実施すること。また、KPI については 7（1）に記載のとおり設定すること。なお、本項目の提案上限額は 25,000 千円（税込）とする。

(イ) 基本方針

以下の方針に基づき、適切に対応すること。

- ① 本イベントは東北六県・新潟県の関係者との連携が不可欠であることから、事業主体・連携自治体のほか、東北六県・新潟県の自治体やDMO、民間事業者等と密接に連携すること。
- ② イベント名称は「日本東北遊楽日」を用いることとし、「東北地域の認知度向上」及び「東北地域への誘客」に加えて、過去11回開催した実績を意識したイベントとすること。
- ③ 本イベントを今後も持続的に開催していくための方策を提案すること。

(ウ) イベント会場

本イベントを実施するに当たり、以下の日程、規模で開催することとし、開催会場（案）での実施を想定したうえでの企画提案を行うこと。また、イベント実施にあたっての各種調整を実施すること。

- ① 開催予定日
2026年12月5日（土）及び6日（日）（会場設営日等は含まない。）
- ② 開催会場（案）
華山1914文化創意産業園区 東2A～2D館（2,476 m²）
- ③ 想定規模
1日当たり5万名程度の集客を見込むこと。
- ④ 想定出展者数
45団体 55小間程度（日本・台湾での合計）
- ⑤ 留意事項
 - ・会場費は、準備から撤収までの期間として6日間を想定し、計上すること。
 - ・開催会場（案）の諸条件（施設概要、使用料、会場面積・収容人数・天井高等の施設規模、インターネット環境、アクセス、レギュレーション等）は、会場のホームページ等を確認すること。特にレギュレーションは、火器（調理用を想定）使用の有無や高さ制限、騒音制限等、イベント内容に影響するものは、詳細に記載すること。また、会場の写真やフロア図についてもあわせて提出すること。
 - ・適切にイベントが運営できる規模の会場とすること。なお、会場が屋外施設を有する場合はその併用を妨げないが、荒天であっても適切に運営できる会場とすること。
 - ・追加で会場が必要と判断する場合は、独自に会場を手配し、併せて提案すること。なお、東観推で仮押さえしている会場と追加手配した会場の距離が離れる場合は、来場者の周遊につながる施策を必ず提案すること。

(エ) イベント内容

- ① イベントテーマ
 - ・イベントテーマは「日本東北遊楽日 好久不見！東北のぬくもり」（案）とし、過去の開催実績

を踏まえ、東北と台湾の継続的な交流促進およびインバウンド・アウトバウンド双方の拡大を目的に設定する。また、東日本大震災から15年の節目にあたり、震災時に台湾から寄せられた多大な支援への感謝の想いを基盤とし、「好久不見！（久しぶり）」をキーワードとした再会を想起させる体験を通じて東北への親しみや再訪意欲の醸成を図り、東北と台湾をつなぐ持続的な絆の構築につなげるものとする。

- ・設定するイベントテーマは、ブース出展内容、会場装飾やイベント名称等にも反映させるよう出展者等と調整を行うこと。
- ・イベントテーマを基にしたキービジュアルを作成し、ウェルカムパネルや会場図、会場装飾等に共通して使用すること。

② 会場レイアウト

- ・ブース間の回遊や会場内の混雑対応に配慮したレイアウト設計とすること。
- ・事業提案時に会場レイアウト案を提示すること。

③ 会場装飾

- ・東北一体となったプロモーションを図るため、「Treasureland Tohoku Japan」のロゴを各所に使用する等、東北の一体感を醸成できる装飾を行うこと。

④ イベント運営

- ・イベント開催中は、出展者による「好久不見！（久しぶり）」の声かけや、同フレーズを用いたバッジ・ステッカー等の活用を通じて、会場全体で再会を思わせる親しみのある雰囲気の醸成を図ること。
- ・出展者とは別に、視覚や聴覚に訴える情報発信に留まらず、東北の名産品をはじめとする東北六県・新潟県の伝統文化や工芸体験等、五感や購買意欲を刺激するアトラクション等を実施すること。

⑤ 特設ステージ

- ・会場内には特設ステージ（大型スクリーン含む）を設置すること。
- ・東北の魅力発信に繋がるような会場装飾を施すこと。
- ・東北地域にゆかりのあるステージアトラクションを東北六県・新潟県へ呼びかけるなどし、広く募集すること。また、応募された内容を踏まえ、ステージアトラクションの全出演者のスケジュールを調整するとともに、当日の誘導等の対応を行うこと。

※出演者の出演料・渡航費・保険料等は全てオファー側（出展者）の負担とすること。

- ・ステージ周辺には、ステージ鑑賞スペースを設置すること。
- ・出演者の控室及び更衣スペースを別途確保すること。

⑥ オープニングセレモニー

- ・イベント初日の十分な集客が見込める時間帯に、東北地域及び台湾関係者が参加するオープニングセレモニーを実施すること。その際、日本及び台湾双方のセレモニー参加者の誘導等の対応を適切に行うこと。また、控室は「⑤特設ステージ」で設置したスペースを活用すること。
- ・参加者や招待メディア等を事前にリスト化すること。なお、参加者の選定・集約は事業主体が

行う。

- ・日本側・台湾側の来賓挨拶等を翻訳するための通訳を配置すること。過去に同様の業務の実績があり、東北側の代表者、台湾要人の挨拶を翻訳するのにふさわしい役割を果たすことができる者を選定すること。
- ・オープニングセレモニー台本を作成し、事前に流れや立ち位置等の細かい打合せを事業主体と行うこと。

⑦ 出展者募集等

【ブース出展】

- ・ブース出展者（東北六県・新潟県の自治体、DMO、民間事業者、台湾側は現地の航空会社等）の募集・出展要件、募集フロー、物資運搬方法等を提案し、日本及び台湾にて出展者募集を行い、受付及びとりまとめを行うこと。出展料は以下の通り設定すること。

(a) 連携自治体は1小間まで出展料を無償とし、出展名表示（パラペット）・装飾（事務局から提案する連携自治体統一デザインもしくは独自デザインのバックパネル1枚分の出力）・カウンター1台・椅子2脚・ブース内インターネット環境を含むブースの造作を行うこと。装飾については、基本的なデザイン（提案する連携自治体統一デザイン）を提案するとともに、画像データのリサイズ等の要望に対応すること。また、ブースの追加を希望する自治体向けに、1小間30万円を上限に追加となるブースの装飾代等を設定すること。なお、連携自治体が提供する観光PR資料等の集約及び輸送（日本から台湾。1自治体につき20kg以内×2箱程度）については無料とし、追加での輸送を希望する自治体は別途費用を徴収し対応すること。ただし、集約及び輸送手配については受託事業者が行うこと。

(b) 東北との直行便を有する航空会社と日系航空会社から出展を募ること。各社1小間まで出展料を無償とし、出展名表示・テーブル1台・椅子2脚を含む基礎備品ブース設計とすること。また、出展の募集・決定にあたっては、各社に航空路線の意向についてヒアリングを行い、集約結果を事業主体に提案すること。最終的には事業主体が報告内容を基に決定する。

(c) 受託事業者は、その他出展者の出展に必要な装飾、備品、追加サービス等に係る実費について、事業主体と事前に協議し、その承認を得た料金設定に基づき、委託費とは別に徴収することを可能とする。また、小間数の追加を希望する場合についても同様とする。

(d) 上記に加え、ブース装飾等に係るオプションを示し、出展者募集にあわせて募ること。

- ・ブースの壁面装飾などを行う際には、単に知名度のある観光地を並べるのではなく、直近の台湾における一般消費者のニーズなどを分析した上で出展者に提案し、且つ会場全体や出展エリアごとに一定の統一感が感じられるようなデザインとすること。

【共通・その他】

- ・東北観光推進機構会員にメリットがあるイベントの開催、物販を行うブース装飾代の設定について検討・提案すること。
- ・イベント開催後には、日本・台湾双方の出展者向けアンケートを実施し、その結果を分析すること。また、アンケートの内容については事前に事業主体に確認の上実施すること。

⑧ 協賛の募集

- ・出展団体に向け、イベント開催に係る協賛の募集を行い、運営に係る費用の獲得に努めること。
- ・協賛金額や物品提供に応じ、各種広告物への協賛団体クレジットの掲載やイベント会場内で協賛団体の PR を図る仕組みを提案するとともに、募集を行うこと。

⑨ アンケート調査の実施・集計・分析

- ・来場者を対象としたアンケート（500 部以上、言語：繁体字）を東北観光推進機構の CRM システム「TOHOKU Fan Club」を使用し実施すること。なお、内容については案を作成し、事前に事業主体へ相談するものとする。
- ・アンケート協力者に対するギブアウェイ（500 個以上）を提案・手配すること。ギブアウェイは本イベント限定で入手できるものを作成し、来場のインセンティブとすること。
- ・アンケートの回答・回収に必要なものを準備すること。
- ・アンケート結果を集約し、翻訳・分析すること。

⑩ 司会

イベントの司会は、訪日促進イベントでの実績が豊富で、原則東北の観光に関する知識を持つ人物を選定すること。

⑪ SNS フォローキャンペーン

- ・実施主体の運営する繁体 SNS のフォロワーを獲得するための企画を提案し、事業主体と協議の上、実施すること。
- ・新規フォロワーに対するギブアウェイ（400 個以上）について提案・手配すること。ギブアウェイはフォローのインセンティブとなるようなものを選定すること。

⑫ 「TOHOKU Fan Club」への入会促進

「TOHOKU Fan Club」への入会を促進するとともに、会員獲得用の東北に関するノベルティ（500 個以上）を受託事業者にて準備すること。

（オ）広告・宣伝

以下の方針に基づき、イベントの広告宣伝・広報手法を「事前」「開催中」「事後（実施報告）」のフェーズに分けて提案し、事業主体と協議の上、実施すること。

- ① イベント来場者数の最大化を目的とし、ターゲット層に対して効果的な広告宣伝・広報施策を提案すること。台湾市場の特性や会場都市の地域性を踏まえた上で、最適な媒体、手法、実施時期、実施回数等を提案することとし、施策実施後はその効果や実績を分析すること。
- ② 事前に日系及び台湾現地メディアへプレスリリース等を行い、セレモニーやイベントの露出、宣伝や告知に繋がるよう働きかけを行うこと。また、日本語及び現地語に対応したメディア専門要員を配置し、取材申し込みの対応やイベント当日の対応を行うこと。
- ③ 台湾現地の日本に関連する施設や旅行博等と連携し、イベントの事前告知が可能な場合は、広告宣伝の企画提案に含めること。
- ④ 各県等が運営する SNS と連携した取組みを実施し、イベントの PR や開催中・開催後のフォロ

ワー獲得に繋げること。

(カ) 渡航手配

事業主体の渡航に関する手配を以下のとおり行うこと。

【手配内容】

・JR 仙台駅 - 台北桃園国際空港の公共交通機関及び航空券（7 名・エコノミー・往復）

※仙台-台北線の直行便を前提とするが、業務都合等により東北域外の空港等を利用することもあり得るものとする。

※12 月 2 日（水）渡航～12 月 7 日（月）帰国する者が 4 名、12 月 3 日（木）渡航～12 月 7 日（月）帰国する者が 3 名、計 7 名とする。

・台北市内にある、東北 PR イベント「日本東北遊楽日」会場及びセミナー・商談会会場に利便性の高い宿泊施設

※12 月 2 日（水）から 5 泊が 4 名、12 月 3 日（木）から 4 泊が 3 名、計 7 名分

(キ) その他

- ① イベント開催に必要な運営要員を確保し、効率的かつ効果的な運営に努めること。
- ② 出展者の募集及びとりまとめ、各種調整、輸送に関するとりまとめ、また共通装飾に関する調整等、日本・台湾の出展事務局としての窓口機能を担うこと。また、過去に出展経験の無い出展希望者は、事業主体及び連携自治体に報告の上、必要に応じて信用等調査を行い、業務内容・実態を把握すること。
- ③ 東北地域の出展者が実施予定の誘客促進施策に対して、出展者及びその実施内容の決定後、可能なサポートを実施すること。
- ④ 日本側出展者がイベント内で物販を行うことができるよう、現地販売の調整を適切に行うこと。ただし、日本からの販売のための商品輸出等に関する手配の費用は出展者の負担とする。
- ⑤ イベントで現地スタッフ等を雇用する場合は、東北観光に係る知識を有する者や日本語にて意思疎通可能な者を優先して雇用すること。
- ⑥ ブース運営マニュアルを作成の上、出展者を含む関係者に最低 10 日以上前に配布すること。
- ⑦ 事業主体が提供する観光 PR 資料等の確保及び輸送（日本から台湾。20kg 以内×8 箱程度）を行うこと。
- ⑧ イベント当日における管理・運営のため、日本もしくは台湾から必要な人員を確保すること。また、派遣に要する費用（交通費、宿泊費等）も見積もりに計上すること。
- ⑨ 前述のブース運営マニュアルとは別に、事務局用の実施計画書を適宜作成し、事業主体と本書を基にイベント当日に向けた打ち合わせを 2 週間に 1 回程度行うこと。
- ⑩ 受託事業者の主担当者は、事業実施期間中は必ず会場に常駐すること。

(2) 東北観光セミナー・商談会、教育旅行セミナー・相談会、交流会の実施

以下内容にて本業務を実施するにあたり必要となる各種調整を実施すること。

また、KPIについては7（1）に記載のとおり設定すること。

なお、提案上限額は以下のとおりとする。

- ・東北観光セミナー・商談会、交流会 3,050 千円（非課税）
- ・教育旅行セミナー・相談会、交流会 2,900 千円（非課税）

（ア）日時・会場

① 開催予定日

2026 年 12 月 4 日（金）午後

※東北観光セミナー・商談会と東北教育旅行セミナー・相談会は、同時進行とすること。

② 開催会場

台北市内の会議室・レンタルスペース

※東北観光セミナー・商談会会場はセミナーを約 100 名が聴講し、商談テーブルを約 50 テーブル設置できる広さの会場を想定すること。

※東北教育旅行セミナー・相談会会場はセミナーを約 50 名が聴講し、商談テーブルを約 20 テーブル設置できる広さの会場を想定すること。

（イ）東北観光セミナー

① 台北の会議室等において、台湾現地の旅行会社やメディアに向けて東北の観光情報等を紹介する観光セミナーを 40 分程度実施すること。

② 航空会社、旅行会社、メディア関係者等台湾側参加者を募集すること（参加者のリストアップ、案内状作成・送付、礼状の送付等）。参加者数は 100 名以上を想定すること。参加者を募集する際、商談会参加に必要な情報のほか、以下の項目を合わせて確認すること。

①会社の主な取り扱い旅行商品（団体向け FIT 向け等）

②商談会に参加する東北側事業者の中で商談を希望する事業者（マッチング）

③ 会場の手配、設営、管理、装飾

- ・会場は市内の中心部などアクセスの良い会場とし、選定理由を明確にして提案の上手配すること。
- ・会場内の装飾を行うこと。また、看板等には「Treasureland TOHOKU JAPAN」のロゴを掲示すること。
- ・セミナー用のパソコン、プロジェクター、スクリーン、マイク、アンプ、スピーカー等の必要な機器を用意すること。

④ セミナー

- ・セミナーで使用するパワーポイント資料を作成し、事業主体及び連携先と調整の上決定すること。この際、観光素材や、近年新しくオープンした観光施設や宿泊施設等のコンテンツ、アクセス情報等を含めた、旅行商品造成や誘客の促進に資する内容を提案すること。

- ・上記パワーポイントの作成にあたっては現地の旅行会社等の意見を聴取し、現地で必要とされる内容を盛り込むよう留意すること。
 - ・セミナー概要のプログラム（繁体字）を作成し、台湾側来場者に配布すること。
 - ・セミナーに係る資料は各会場の参加者に配布するにあたり必要十分な量を印刷すること。
 - ・セミナーの休憩時間等用にソフトドリンク及びお菓子等の軽食を手配すること。
- ⑤ 運営要員の手配
- ・司会兼通訳を1名配置すること。司会兼通訳は過去に観光セミナー等でプレゼンテーションを実施した実績があり、東北の情報発信に効果的な役割を果たすことができる者を選定すること。
 - ・受付2名及び通訳2名を配置すること。受付は、来客の受付・案内に加え、事務局側関係者のサポートができる人材を手配すること。
 - ・運営管理者を各1名配置し、進捗状況の把握と円滑な会場運営を行うこと。なお、この管理者は受託事業者の主担当者が兼ねてもよい。
- ⑥ 事業の連携
- ・台北で開催を予定している「日本東北遊楽日」と連携し、イベントに参画する旅行会社の商品販売のフォローや、イベント開催の周知など相乗効果を創出する取組みを行うこと。
- ⑦ 参加者へのフォローアップ
- ・事業実施後、セミナー当日に参加者から挙げた質問等を集約し、速やかに回答を作成のうえ事業主体に確認を行うこと。なお、参加者への回答は12月14日までに言い、フィードバックの実施、追加の情報提供等など、丁寧なフォローアップを行うこと。
- （ウ）商談会
- ① （ア）の会場において、日本側参加者と現地旅行会社の商談会を3時間程度実施すること。
 - ② 商談会は、セミナー会場内に椅子とテーブルを設け、各テーブルに参加者が着席し、現地旅行会社等のうち希望者がテーブルに着いて商談を行う形式とする。
 - ③ 参加者の募集を行い、参加者の取りまとめを行うこと。
 - ④ 参加費は無料とすること。
 - ⑤ 通訳は日本側参加者が各自手配を行う。ただし、出展募集を行う際に希望を聴取し、希望があった場合には有料で手配を行うこと。
 - ⑥ 商談会参加マニュアルを作成の上、商談会に必要な資材や事前の資料輸送先に関する案内等を最低10日以上前までに行うこと。また、台湾側の参加者情報を掲載して案内すること。
- （エ）東北教育旅行セミナー
- ① 東北観光セミナー・商談会と同会場の会議室を確保し、台湾現地の学校関係者に向けて東北の教育旅行情報等を紹介する東北教育旅行セミナーを40分程度実施すること。
 - ② 小・中・高の学校関係者等の台湾側参加者を募集すること（参加者のリストアップ、案内状作成・送付、礼状の送付等）参加者数は50名程度を想定すること。

③ 会場の手配、設営、管理、装飾

- ・会場内の装飾を行うこと。また、看板等には「Treasureland TOHOKU JAPAN」のロゴを掲示すること。
- ・プレゼン用のパソコン、プロジェクター、スクリーン、マイク、アンプ、スピーカー等の必要な機器を用意すること。

④ セミナー

- ・セミナーで使用するパワーポイント資料を作成し、事業主体と協議の上決定すること。この際、東北の観光素材や、東北で学校交流が可能な学校情報、震災学習コンテンツ、農泊・民泊コンテンツ、アクセス情報等を含めた、教育旅行の誘客に資する内容を提案すること。
- ・上記パワーポイントの作成にあたっては現地の学校関係者や旅行会社等の意見を聴取し、現地で必要とされる内容を盛り込むよう留意すること。
- ・セミナー概要のプログラム（繁体字）を作成し、来場者に配布すること。
- ・セミナーに係る資料は各会場の参加者に配布するにあたり必要十分な量を印刷すること。
- ・セミナーの休憩時間等用にソフトドリンク及びお菓子等の軽食を手配すること。

⑤ 運営要員の手配

- ・司会兼通訳を1名配置すること。司会兼通訳は過去に観光セミナー等でプレゼンテーションを実施した実績があり、東北の情報発信に効果的な役割を果たすことができる者を選定すること。
- ・受付兼通訳2名を配置すること。受付は、来客の受付・案内に加え、事務局側関係者のサポートができる人材を手配すること。
- ・運営管理者を1名配置し、進捗状況の把握と円滑な会場運営を行うこと。なお、東北観光セミナーの管理者が兼ねることはできない。

⑥ 参加者へのフォローアップ

- ・事業実施後、セミナー当日に参加者から挙げた質問等を集約し、速やかに回答を作成のうえ事業主体に確認を行うこと。なお、参加者への回答は12月14日までにを行い、フィードバックの実施、追加の情報提供等など、丁寧なフォローアップを行うこと。

(オ) 相談会

- ① (エ)の会場において、日本側参加者と現地学校関係者の商談会を3時間程度実施すること。
- ② 商談会は、セミナー会場内に椅子とテーブルを設け、各テーブルに東北側参加者が着席し、現地学校関係者等のうち希望者がテーブルに着いて商談を行う形式とする。
- ③ 参加者の募集を行い、参加者の取りまとめを行うこと。
- ④ 参加費は無料とすること。
- ⑤ 通訳は日本側参加者が各自手配を行う。ただし、出展募集を行う際に希望を聴取し、希望があった場合には有料で手配を行うこと。
- ⑥ 東北観光推進機構の商談テーブルを1つ準備すること。また、商談における通訳を1名手配すること。

(カ) 交流会

- ① 台湾現地旅行社等（教育旅行含む）関係者と東北から台湾を訪問する関係者の関係構築と今後の相互交流の促進を目的に、2 時間程度交流会を開催すること。
- ② 日本側参加者 100 名程度・台湾側参加者 100 名程度の参加を目安に、招待などの手配を行うこと。なお、この内訳は事業主体と打ち合わせの上決めること。
- ③ 日本側参加者の参加費は有料で設定し、徴収すること。
- ④ テーブルごとに 2 名程度通訳（日本語・中国語）を配置すること。
- ⑤ 台湾側参加者の参加費は、(イ) ～ (オ) のいずれかの参加を条件に無料とすること。
- ⑥ 座席表の作成等、交流会の実施に向けた各種調整を行うこと。（司会者兼通訳者の手配、受付の準備・対応、スムーズな司会のための当日対応等を含む）
- ⑦ 交流会の開催にあたり、参加者に提供する飲食の手配を行うこと。なお、台湾側参加者の飲食代には関しては別途委託事業者へ請求するものとする。

(3) 航空会社訪問の実施

以下内容にて本業務を実施するにあたり必要となる各種調整を実施すること。なお、本項目の提案上限額は 450 千円（税込）とする。

(ア) 日時・会場

- ① 開催予定日
2026 年 12 月 3 日（木）
- ② 開催場所
台北市内

(イ) 航空会社訪問

- ① 航空会社との調整
 - ・上記のスケジュールで現地航空会社計 4 社程度を訪問するにあたってのアポイントを取得すること。
 - ・アポイントメント先は実施主体が別途指定する。
 - ・東北側からの参加者の情報を適切に訪問先へ共有し、相応の対応が得られるよう努めること。
- ② 現地での専用車・ガイド及び通訳の手配
 - ・上記スケジュールを遂行するために適当な車両の手配を行うこと。車両は、参加者最大 20 名が着席できる車両とする。
 - ・セールス訪問を行うにあたっての適切なガイドを手配すること。
 - ・ガイドとは別に訪問時の通訳（日本語・中国語）を手配し、同行させること。通訳は過去に自治体の知事等の通訳経験を持つ者で、且つ東北の観光事情を熟知している者を手配すること。
- ③ その他

- ・当日、集合場所から出発し、航空会社4社程度を訪問すること。航空会社訪問の後、集合場所に帰着し解散すること。
- ・行程を踏まえ昼食場所を事前に手配し、昼食場所への移動を行うこと。この際、昼食代は各自で支払うこととし、当日もしくは後日請求書による集金を行うこと。
- ・訪問先・訪問時間に時間厳守で到着できるよう行程管理を行うこと。当日、不測の事態等により訪問時間に遅れる場合等には、適宜訪問先へ連絡を取るなどし、スムーズな実施に努めること。
- ・当日は司会進行役を1名用意すること。

6. 事業報告書に関すること

2027年1月29日（金）までに事業報告書を提出すること。

7. 事業効果の把握等に関すること

本事業が誘客促進等につながったことを把握するため以下のとおり KPI を設定し、その達成に向けた取組を行うとともに、測定および分析を実施すること。また、日本東北遊楽日を契機とした東北への実来訪を計測もしくは推計しうる指標・手法を提案すること。

（1）KPI の設定

本事業においては、以下の指標を最低限の KPI として設定する。

- ① 日本東北遊楽日
 - a 会場来場者数：約 106,000 人
 - b アンケート回収部数：500 部
- ② 東北観光セミナー・商談会
 - a セミナー・商談会における東北側参加者数：50 団体
 - b セミナー・商談会における台湾側参加社数：77 社
 - c セミナー・商談会における総商談数：600 件
- ③ 東北教育旅行セミナー・商談会
 - a セミナー・商談会における東北側参加者数：20 団体
 - b セミナー・商談会における台湾側参加校数：38 校
 - c セミナー・商談会における総商談数：180 件

（2）KPI の測定方法

- ① 各事業において実施するアンケート調査、商談記録等を活用し、KPI の達成状況を把握すること。
- ② 各事業間の連動による効果も踏まえ、事業全体としての効果を把握すること。

(3) 分析および報告

- ① KPI の達成状況について分析を行い、成果および課題を整理すること。
- ② 分析結果を取りまとめ、事業主体へ報告するとともに、今後の施策改善に向けた提案を行うこと。

8. その他

- (1) 受託事業者がその知見と能力を活用した事業実施に資する独自の提案などがある場合、あわせて提案すること。
- (2) 受託事業者は、事業主体と締結した「業務委託契約書」の各条項を遵守し業務を遂行すること。
- (3) 受託事業者は、業務に要する機材及び消耗品について準備すること。
- (4) 受託事業者は、業務の各段階において業務の遂行について随時報告を行い事業主体の了解を得ること。
- (5) 受託事業者が業務を遂行する上で必要な資料等は、受託事業者において入手すること。
- (6) 事業主体が委託金額を加算するなど、本契約の変更を必要と判断した際には、受託事業者と協議を行った上で、本契約の内容を変更することができる。

以上